

2020年2月6日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス  
 コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 早河 洋  
 (氏名) 小林 直治  
 TEL 03-6406-1115

(百万円未満切捨)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	221,539	△2.2	10,803	△22.6	28,903	77.0	24,204	118.7
2019年3月期第3四半期	226,604	△0.8	13,963	△13.4	16,332	△11.7	11,067	△15.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 22,118百万円 (78.4%) 2019年3月期第3四半期 12,397百万円 (△41.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	226.52	—
2019年3月期第3四半期	103.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	458,589	364,116	79.1
2019年3月期	452,000	353,757	77.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 362,640百万円 2019年3月期 349,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金30円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,000	△1.6	13,000	△19.6	31,000	62.3	26,000	101.9	244.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	108,529,000 株	2019年3月期	108,529,000 株
2020年3月期3Q	4,513,096 株	2019年3月期	1,367,273 株
2020年3月期3Q	106,853,802 株	2019年3月期3Q	107,163,569 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2020年2月6日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,215億3千9百万円（前年同期比△2.2%）、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が2,107億3千5百万円（同△0.9%）となりました結果、営業利益は108億3百万円（同△22.6%）となりました。また、経常利益は289億3百万円（同+77.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は242億4百万円（同+118.7%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①テレビ放送事業

タイム収入は、単発番組につきましては、「世界野球プレミア12」や開局60周年記念番組である5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」「世界水泳韓国・光州2019」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」などで増収となったものの、アドバタイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は643億1千7百万円（前年同期比△1.8%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「エネルギー・素材・機械」「官公庁・団体」などが好調な一方で、「化粧品・トイレタリー」「情報・通信」「飲料・嗜好品」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は683億2千1百万円（同△8.6%）となりました。

また、BS・CS収入は197億4百万円（同△3.0%）、番組販売収入は99億1千8百万円（同+1.0%）、その他収入は173億9千5百万円（同+2.0%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,796億5千7百万円（同△4.1%）、営業費用は1,734億5千4百万円（同△2.4%）となりました結果、営業利益は62億3百万円（同△35.8%）となりました。

#### ②音楽出版事業

「ケツメイシ」が全国各地でコンサートツアーを展開したことなどにより、音楽出版事業の売上高は83億3千8百万円（前年同期比+8.0%）、営業費用は73億8千9百万円（同+4.1%）となりました結果、営業利益は9億4千9百万円（同+52.5%）となりました。

#### ③その他事業

前年同期に販売したドラマ「おっさんずラブ」の反動減などにより、DVD販売が減収となりました。一方、インターネット事業が好調に推移したほか、「劇場版おっさんずラブ～LOVE or DEAD～」などにより、出資映画事業が増収となりました。

以上により、その他事業の売上高は434億9百万円（前年同期比+6.4%）、営業費用は396億9千8百万円（同+6.9%）となりました結果、営業利益は37億1千1百万円（同+0.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比65億8千8百万円増の4,585億8千9百万円となりました。これは、現金及び預金が103億8千2百万円、有価証券が64億9千2百万円減少したものの、投資有価証券が191億8千1百万円、たな卸資産が32億1千7百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比37億7千万円減の944億7千2百万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比103億5千9百万円増の3,641億1千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間において、東映株式会社の株式を追加取得し、持分法適用関連会社化したことに伴い、負ののれん相当額（暫定的に算定）を持分法による投資利益に計上したことなどから、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想（2019年11月8日発表）を上回る見通しであります。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	297,000	13,000	15,000	10,000	93.31
今回修正予想(B)	297,000	13,000	31,000	26,000	244.82
増減額(B-A)	—	—	16,000	16,000	
増減率(%)	—	—	106.7%	160.0%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	301,744	16,164	19,097	12,879	120.18

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,908	19,525
受取手形及び売掛金	78,534	76,876
有価証券	44,400	37,908
たな卸資産	10,571	13,788
その他	12,422	16,454
貸倒引当金	△73	△67
流動資産合計	175,762	164,485
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	100,642	99,652
有形固定資産合計	100,642	99,652
無形固定資産		
その他	6,373	5,983
無形固定資産合計	6,373	5,983
投資その他の資産		
投資有価証券	148,176	167,357
その他	21,223	21,289
貸倒引当金	△178	△180
投資その他の資産合計	169,220	188,466
固定資産合計	276,237	294,103
資産合計	452,000	458,589
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,149	9,322
その他	53,188	50,437
流動負債合計	62,337	59,760
固定負債		
退職給付に係る負債	17,596	17,653
その他	18,309	17,059
固定負債合計	35,905	34,712
負債合計	98,243	94,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,642	36,654
資本剰余金	70,226	70,434
利益剰余金	212,447	233,768
自己株式	△2,854	△9,276
株主資本合計	316,462	331,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,484	35,101
繰延ヘッジ損益	580	396
為替換算調整勘定	△57	△156
退職給付に係る調整累計額	△4,640	△4,283
その他の包括利益累計額合計	33,367	31,058
非支配株主持分	3,926	1,476
純資産合計	353,757	364,116
負債純資産合計	452,000	458,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	226,604	221,539
売上原価	164,253	164,101
売上総利益	62,350	57,438
販売費及び一般管理費	48,386	46,634
営業利益	13,963	10,803
営業外収益		
受取配当金	1,095	1,397
持分法による投資利益	1,017	16,469
その他	332	333
営業外収益合計	2,445	18,201
営業外費用		
固定資産廃棄損	56	69
その他	20	32
営業外費用合計	76	101
経常利益	16,332	28,903
特別利益		
投資有価証券売却益	548	310
特別利益合計	548	310
特別損失		
投資有価証券評価損	-	171
特別損失合計	-	171
税金等調整前四半期純利益	16,880	29,041
法人税等	5,640	4,726
四半期純利益	11,239	24,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	172	110
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,067	24,204



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	11,239	24,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	775	△2,406
繰延ヘッジ損益	84	△184
為替換算調整勘定	△4	△13
退職給付に係る調整額	315	356
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	51
その他の包括利益合計	1,157	△2,196
四半期包括利益	12,397	22,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,224	22,008
非支配株主に係る四半期包括利益	172	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、東映株式会社の株式を追加取得し、持分法適用関連会社としております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間においては、その時点で入手可能な合理的情報に基づいた暫定的な会計処理により算定された負ののれん相当額 14,784 百万円を持分法による投資利益に含めております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	185,032	7,540	34,031	226,604	—	226,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,363	178	6,784	9,326	△9,326	—
計	187,395	7,719	40,815	235,930	△9,326	226,604
セグメント利益	9,657	622	3,684	13,963	△0	13,963

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去△60百万円、当社における子会社からの収入1,572百万円及び全社費用△1,512百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	177,184	8,169	36,185	221,539	—	221,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,473	169	7,224	9,867	△9,867	—
計	179,657	8,338	43,409	231,406	△9,867	221,539
セグメント利益	6,203	949	3,711	10,864	△60	10,803

(注) 1. セグメント利益の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去△100百万円、当社における子会社からの収入1,617百万円及び全社費用△1,577百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。